

令和5年度第1回 半田市地域福祉計画推進委員会会議要旨

| | | |
|-------------------------|---|---------------|
| 開催日時 | 令和5年6月6日（火） | 10時00分～12時00分 |
| 開催場所 | 市役所大会議室（4F） | |
| 会議次第 | 1. 開会 2. あいさつ 3. 議事 (1) 令和4年度事業報告・令和5年度事業予定について (2) ふくし課題プロジェクトについて (3) 第2次地域福祉計画の見直し内容 (4) 第2次地域福祉計画の中間評価方法 (5) 重層的支援体制整備事業実施計画について (6) 重層的支援体制整備事業の現状と課題 4. 事務連絡 5. 閉会 | |
| 出席者 | 【委員】 ◎は委員長 溝口 昭弘、小栗 照夫、山田 嵩、森川 武彦、立石 佳輝、◎鷺野 林平、 下村 裕子、柴田 将人 【半田市】 福祉部長 竹部 益世、地域福祉課 杉江 慎二、吉澤 伸博、清水 太士 生活援護課 長谷川 信和、高齢介護課 沢田 義行、健康課 竹内 健、 子育て相談課 三輪 象太郎 【半田市社会福祉協議会】 小野田 靖、前山 憲一、中根 靖幸 | |
| 次第 | 議事概要 | |
| 1. 開会 | （地域福祉課長） ・令和5年度第1回半田市地域福祉計画推進委員会を開会します。 ・本日は、NPO 法人知多地域権利擁護支援センター 今井委員が欠席です。 | |
| 2. あいさつ | （鷺野委員長） ・昨今、地震や大雨等の災害があったことで、地域のつながりがさらに求められるよう になりました。半田市がいきまちになるよう、みなさんからの忌憚のないご意見をいただき たいと思います。 | |
| 3 議事 （1）令和4 年度事業報 | （鷺野委員長） ・それでは、次第に沿って議事を進行します。 | |

| | |
|------------------------------------|--|
| <p>告・令和 5 年 度事業予定に ついて</p> | <p>(事務局〈市〉)</p> <p>○資料 1 により説明。</p> <p>(下村委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ふくし共育の内容が令和 3 年度から変わっていると思いますが、令和 4 年度実施した結果の子どもたちの感想や変化等を教えてください。 ・また、以前に子どもたちが「ふくし井戸端会議」を実施する提案をしましたが、その後の動きはありましたか。 <p>(事務局〈市〉)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちの感想や変化等については、次の委員会で報告させていただきます。 <p>(事務局〈社協〉)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校や担当の先生の意向に合わせて実施しているため、一部は未だ体験型の授業に留まっています。ふくし共育に理解のある先生が増えていますが、市外から赴任された先生が担当になると、従来通りの実施方法を選択される傾向があります。 ・令和 4 年度からの新しい内容の中で、グループワークに取り組めるよう改良し、ふくし井戸端会議に近い形で実施できるよう検討を進めています。 <p>(下村委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもにまつわる課題が近年増加してきている中で、子どもたち自身がふくしを知っていることは大切だと思います。学校ごとに事情が異なることは理解していますが、学校教育課からふくし共育に取り組むよう学校へ指示を出すことも必要になってきたと感じます。 <p>(事務局〈社協〉)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実際に困っている子どもが顕在化してきている中で、早期発見、支援のためにも先生方に認識を広めていく必要があると感じています。 <p>(地域福祉課長)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域福祉課からも学校教育課へ働きかけをします。 <p>(鷲野委員長)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・企画・運営等に携わっている、立石委員から現在の状況、福祉施設がウェルフェア・ワークスに参加したことで変化したことなどありましたら、お話を伺いたと思います。 <p>(立石委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・企画への参加者は徐々に増加してきています。事業所見学会やインターン斡旋を行った結果、令和 4 年度はイベント等参加者から 2 名が市内事業所に就職しました。 ・人材の確保ということで学生にフォーカスしがちですが、福祉事業所としては、若手職員の育成にも役立っていると感じます。 ・マッチング編の企画・運営は、各参加事業所の若手職員で構成されており、分野・ |
|------------------------------------|--|

事業所を超えて取り組んでいます。

・各事業所での新卒採用は、毎年一人いるかどうかで、同期や同じ世代の職員がない場合がほとんどです。市内の同じ業界で働く同世代の仲間と取り組むことで、事業所単位では経験できない、達成感ややりがいを感じていると部下から聞いています。

・離職を防ぐためにも、この場を通じて横のつながりができることも成果だと感じます。

(事務局〈社協〉)

・半田市社協と日本福祉大学の学生有志で「ポットラックカフェ」を実施しています。福祉事業所の若手職員に参加もらうことも可能なので、ぜひ活用してください。

(鷺野委員長)

・続いて P.11 の乙川小学校区のふくし井戸端会議で小栗委員が乙川の歴史などを説明されたと聞いています。その時の状況や子どもと大人が交流して感じたことなどをお話しいただけたらと思います。

(小栗委員)

・今回実施した目的は2点あったと感じています。①災害時の避難経路の確認②住んでいる地域の歴史や場所を知るです。参加者は、自治区の区長や役員、公民館長、地域住民と近隣の学童に通う児童、約60名でした。地域住民と児童が顔見知りになり、良い機会になったと感じています。

・5月20日の乙川小学校区を始め、今年度も引き続き実施していく予定と聞いています。

(鷺野委員長)

・続いて、P.21 板山公民館での認知症理解講座の開催について、山田委員が認知症の方の対応方法などの講座開催を要望されたとのことなので、経緯などお話を伺いたいと思います。

(山田委員)

・地域において、顔見知りの方が認知症の疑いがあるとき、どのように対応したらよいか困っていました。それで地域福祉課に相談し、今回、この講座の開催に至りました。

・講座を踏まえて、8月18日に行方不明者捜索訓練を予定しています。

(鷺野委員長)

・続いて、認知症講座の講師をされた森川委員から、認知症のことについて何をポイントに講座でお話したかを伺いたいと思います。

(森川委員)

・事前に山田委員と打合せをして、講座の内容を決めました。認知症予防よりも、地域住民で認知症になった方がいたときの気付くポイントや、どのように支えるかについて話をしました。

| | |
|----------------------------|--|
| | <p>・和気あいあいとクイズを交えながら実施し、地域の日頃からのつながりを感じました。</p> <p>(鷺野委員長)</p> <p>・続いて、ふくし井戸端会議がきっかけで発足した亀崎思いやり応援隊 KOO (クー) の皆さんの活動が、高齢者が生き生きと活躍する団体等を紹介する、愛知県「人生100年！お達者名鑑」に取り上げられたので、ご報告いただきたいと思います。</p> <p>(溝口委員)</p> <p>・半田市社協から愛知県へ推薦してもらい、掲載されることとなりました。取材を受け、約9分の動画で KOO を紹介してもらいました。お時間があるときにぜひご覧ください。掲載された23団体のうち3団体が会場に招待され、CBC ラジオパーソナリティーとのトークセッションに KOO が参加してきました。選ばれた理由を愛知県に聞いたところ、ほかの団体と違い、多世代で地域を支えていることを評価いただいたそうです。</p> <p>・KOO の隊員も高齢化が進む中で、中学生が参加してくれるのは活力になっています。取組が続けられるよう今後も活動していきたいです。</p> |
| <p>(2) ふくし課題プロジェクトについて</p> | <p>(事務局〈市〉)</p> <p>○資料2により説明。</p> <p>(鷺野委員長)</p> <p>・災害時指定避難所・福祉スペースの確保調整のプロジェクトに参加していた森川委員と立石委員に、このプロジェクトで感じたことやご意見等あればお願いします。</p> <p>(森川委員)</p> <p>・福祉スペースの必要性の周知が必要な中、このガイドラインが作成できたことは大きいと感じています。しかし、これをどう活かすのかの議論には至っていないことが課題です。また、市民の方にも福祉スペースの必要性を理解していただく必要があると思います。</p> <p>(立石委員)</p> <p>・防災訓練の中で、このガイドラインが実用できるものなのか検証する必要があります。9月1日の乙川東小学校区の防災訓練において活用する予定ですが、このスピード感でよいのかと懸念しています。</p> <p>(地域福祉課長)</p> <p>・防災安全課と協議していきます。</p> |
| <p>(3) 第2次地域福祉計画の見直し内容</p> | <p>(事務局〈市〉)</p> <p>○資料3により説明。</p> <p style="text-align: center;">〈意見・質問等なし〉</p> |

| | |
|---|---|
| <p>(4) 第2次 地域福祉計画 の中間評価方 法</p> | <p>(事務局<市>) ○資料4により説明。 <意見・質問等なし> (地域福祉課長) ・議事(1)で下村委員からご指摘があったように、「事業を実施した」ではなく、何がどう 変化したか、記載方法に留意します。</p> |
| <p>(5) 重層的 支援体制整備 事業実施計画 について</p> | <p>(事務局<市>) ○資料5により説明。 <意見・質問等なし> (地域福祉課長) ・今年度から本格実施を開始するにあたり、当該事業の実施計画の策定が国より求 められています。そのため、今回の第2次地域福祉計画の見直しに併せて、地域福 祉計画に包含する形で策定したいと考えています。</p> |
| <p>(6) 重層的 支援体制整備 事業の現状と 課題</p> | <p>(事務局<市>) ○資料6により説明。 (事務局<社協>) ・半田市は6歳までの支援は充実しているものの、小学校へ入学すると支援が減少し てしまいます。小学校で課題のある児童が中学校や高校へ進学し、困りごとが大き なって発見されることも多いです。子どものうちから、伴走的にみんなで成長を見守っ ていく地域づくりがこの事業には必要だと思えます。 (鷺野委員長) ・下村委員に質問です。活動する中で、子どもに関する事で最近あった出来事などあ ればお話しいただきたいと思えます。 (下村委員) ・半田市は高齢者の困りごとはキャッチしやすくなったと感じていますが、子どもについ ては弱く感じています。子どもに焦点を当てないと、地域福祉が成り立たなくなります。 ・実施計画を策定するにあたり、子どもを含めた困りごとをきちんと拾えるものにしてほ しいです。 ・学校教育課に本委員会へ参加していただくことは可能でしょうか。 ・KOO ジュニアの活動を他の地域にも広げていけるとよいと思えます。 (溝口委員) ・最初は、中学生を受け入れることについて反発もありましたが、現在は地域で見守る ことが大切だと隊員全員が認識して活動しています。今後、部活動が平日のみになる ことで、中学生の余暇活動を地域が受け止める必要があると聞きました。</p> |

| | |
|---------|--|
| | <p>(下村委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生活の中に学校があるので、ぜひ一緒に学校教育課にも考えてもらいたいです。 <p>(鷺野委員長)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校教育課の参加について、事務局は検討してください。 <p>(福祉部長)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・部長へ打診してみます。 <p>(鷺野委員長)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・続いて、柴田委員に質問します。昨年度の相談の傾向や、最近あった出来事などあればお話しいただきたいと思います。 <p>(柴田委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ふくしまるごと会議に参加し、さまざまなケースを通じて勉強になっています。CSW が抱えているケースの解決に向けて、関係機関として支援をしていきたい。 <p>(子育て相談課)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・6歳までは子育て相談課が支援し、小・中学校では先生やSSWが支援いただくこととなります。今後、学校教育課がSSWの増員を図って、先生とSSWの連携を強化し、子育て相談課とCSWも支えています。地域の方々にも子どもたちの支援にご協力いただきたいと思いますので、よろしくお願いします。 <p>(溝口委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・亀崎地区では、脳とからだの教室の参加者の確保に苦労していますが、他の地区はどうですか。 <p>(健康課長)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各地区の詳細は把握できていませんが、評判が良い講座のため、参加者不足のために実施できないということがないように努めます。 <p>(鷺野委員長)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・それでは、本日予定していた議事はすべて終了しました。 ・会議の進行を事務局へお返しします。 |
| 4. 事務連絡 | <p>(地域福祉課長)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鷺野委員長、ありがとうございました。 ・それでは、事務局から事務連絡です。 ・先ほど、議事(4)で説明をしました、事業実績と自己評価について事務局で作成し、7月以降で個別に委員の皆様へご説明に伺います。 ・今年度は委員会を3回開催する予定です。第2回は令和5年10月13日 |

| | |
|-------|---|
| | (金)、第3回は令和6年2月6日(火)、各回10時開始、会場は市役所大会議室となります。 |
| 5. 閉会 | (地域福祉課長) ・これをもちまして、令和5年度第1回半田市地域福祉計画推進委員会を終了します。ありがとうございました。 |
| | (終了) |